

学びと誇りが実感できるまち

～本を読む！もっと読む！～

令和2年5月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人



薄月夜花くちなしの匂いけり

(正岡子規)

先月、東小学校が「令和2年度子供の読書活動優秀実践校」の文部科学大臣表彰を受けました。おめでとうございます。これまで、ここ4年間で、実に庄原市の小中学校から3校が文部科学大臣賞受賞という榮譽に輝いています。

「庄原の子供は、いつも今読んでいる本が鞆に入っている」を合言葉に読書活動を推進している本市にとって、重なる受賞は、大変評価された価値あるもので、子供たちとともに喜び合いたいと思います。各学校の読書活動をはじめ、家庭や図書館の取り組み、ボランティア活動による読書推進活動など、今後の読書活動にも弾みが付き、ますます充実していくことを願っています。

さて、新型コロナウイルス感染症防止のために、再び小中学校を臨時休業としています。各家庭における子供たちの過ごし方の基本は、外出を控えること、毎朝の検温、室内換気、手洗いや咳エチケットの励行、また、免疫力を高めるために、十分な睡眠、個人で行う適度な運動（体操・縄跳びなど）、バランスの取れた食生活など、健康管理に努めた生活を心掛けていただきたいと思います。そして、家庭学習を計画的に積極的に行いましょう。

なかでも、学校が休業中、あるいは家庭で過ごす時間が増えるときなどは、意欲的に本を読み、読書の魅力を満喫してほしいと思っています。

次の表は、読書活動状況を調査した結果の一部です。

1週間：家庭で読書する時間について

(%)

学年	—	読まない	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4時間以上
小学校 第5学年	庄原市	14.2	39.4	22.8	11.4	5.1	7.1
	広島県	21.2	37.5	22.2	8.5	4.1	6.4
中学校 第2学年	庄原市	38.9	28.4	17.1	6.9	2.9	5.8
	広島県	39.4	32.0	14.8	6.6	2.7	4.5

(令和元年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果から)

「読書している」と回答した子供の割合は、小学校では85.8%、中学校では61.1%で、いずれも県平均を上回っています。特に、2時間以上読書している割合は、小学校で4.6ポイント、中学校で1.8ポイント上回っています。

読んだ本の数だけ体験できる世界や想像力が広がっていきます。読書を通して、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めることができます。心豊かになっていきます。読書好きな子供がもっともっと増えていくことを期待しています。